

【史跡名勝南湖公園第2次保存管理計画の概要について】



白河市教育委員会文化課
による説明

- 策定の目的
昭和57年に策定した「史跡名勝南湖公園保存管理計画」から25年が経過しており、南湖周辺における土地利用や自然環境の急激な変化に対しより広い視点に立った対応が求められている。このため、定信公が残した「共楽の地」である南湖公園を末永く白河市の自慢と誇りとして次世代に伝達していくための基本方針、現状変更などの各種手続きの取扱基準などを策定する。
- 保存管理の基本方針
南湖を構成する諸要素を整理し、南湖公園のあるべき姿の明確化を図る。南湖公園を良好な状態で後世に継承するために、適切な保存管理の方法を構築し、それを実施する。
南湖公園を今後も「共楽の地」として発展させるため、積極的な整備・活用と情報発信を図る。
- 活用（市民協働・連携）
多くの人が南湖公園に愛着を抱いている。南湖の価値を正しく理解してもらうことにより、南湖公園を守り育てる活動に積極的な参加が出来るような環境づくりをしていくことが重要。

【講演「南湖公園の水生昆虫について」】



福島県農業総合センターの
三田村博士による講演

- 昔の南湖は・・・
水野谷氏（1999）の「中通り南部の水生甲虫について」という報告の中に、1963年～1966年の南湖における水生甲虫が6種、記録されていた。（マルガタゲンゴロウ、クロゲンゴロウ、ゲンゴロウ、セマルガムシ、ガムシ、コガムシ）
これらの昆虫はどこへ行ったのか・・・
- 今回の調査で確認された水生昆虫
トンボ類・・・25種（マルタンヤンマ、チョウトンボ等）
カメムシ類・・・12種（エサキモンキツノカメムシ等）
甲虫類・・・2種（ツブゲンゴロウ、ルイスツブゲンゴロウ等）
- 「南湖トンボ講座」の際、福島県では数例しか採取記録のない暖地性のトンボ・マルタンヤンマが参加者によって発見された！

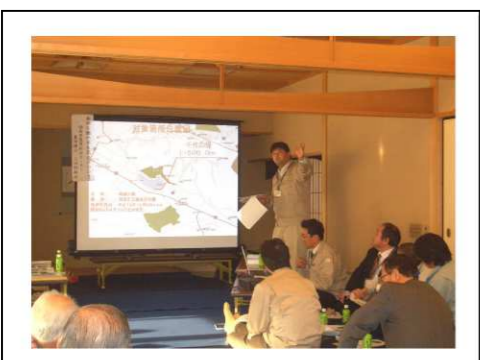
水辺の周囲もトンボ類の羽化場所として重要である。

トンボ類は羽化後、水辺を離れ、周囲の草地や林内へ移動する。

ゲンゴロウ類は、水中ではなく土の中で蛹になる。

水生昆虫にとっては、水環境だけでなく、周囲の環境も重要である。

【千世の堤の護岸修繕計画について】



県南建設事務所河川砂防
グループによる説明

- 千世の堤護岸の破損が著しいため、環境や景観に配慮した工法により、護岸（石積み）の修繕を行う。
- 既設護岸は、局部補修を除いては、白河石を利用した空石積みの護岸であり、昭和36年を皮切りに築造された。
- 千世の堤護岸の調査結果
 - ・護岸は全体的に老朽化が進み、裏込材の流出や石材の抜落ち、部分剥離、はらみだし等の崩壊が目立った。
 - ・沈下の原因として、護岸の基礎である松丸太が腐敗したと考えられたが、今回の調査で基礎の腐敗や変形は確認されない。
- 護岸崩壊の原因
冬期間の湖面が凍りつく時期に、水を含んだ石材が凍結し、融解するという現象を繰り返し、さらに波浪により裏込め材が吸出しを受け崩壊したものであると判断する。
- 白河石の特徴
 - ・他の石材と比べると、やわらかいので加工がしやすい。
 - ・他の石材よりも目が粗い。反面、やわらかい材質でもろい面もある。
 - ・目が粗いので他の石材より水を多く含みやすい。

修繕方法については、市教育委員会文化課を通して文化庁との協議を行い、工法を決定する予定。

質問

- Q1 南湖十七景十六勝という場合と十七勝十六景とがあるが、どちら正しいのか？
- Q2 「士民共楽」と「四民共楽」という言い方はどちらを使えばよいのか？
- Q3 「湖を見渡し、関山を望むあすまや」とあるが共楽亭は茶室なのに、なぜあすまやになってしまったのか？

行政、有識者の回答

- A1 本来は十七景十六勝であるが、「原点に忠実に」という事で江戸時代の文言を尊重し、十七勝十六景としている。
- A2 「四民」の基になった「土農工商」は、その当時は武士か庶民かの区別しかなかったため、武士の士を取り、「士民共楽」としている。
- A3 現在ある共楽亭は、明治38年に8畳2間で再建されたものである。江戸時代の茶室は、仕切のない8畳1間だったと言われている。

質問

- Q1 トンボの卵はどこに産むのか？
- Q2 トンボの標本は、はねを広げないのか？
- Q3 チョウトンボは他県からみても珍しいのか？
- Q4 ゲンゴロウが少なくなっているのはなぜか？

三田村博士の回答

- A1 種類によって違うが陸で産むタイプと水にばら撒くタイプがある。
- A2 はねを閉じて横向きにする。はねを開くとトンボの特徴がわかりにくくなるため、横向きにする。
- A3 福島県レッドデータブックでは準絶滅危惧種に指定されている。
- A4 池の周りの8割くらいが埋め立てられていることや、ブラックバスの影響も考えられる。

質問

- Q1 千世の堤が漏水している。早急に修繕できないか？

行政の回答

- A1 今年秋からの修繕を目指している。

まとめ

・今年度は3回にわたり、南湖への理解を深めるための検討会（勉強会）を中心に開催してきました。今回、皆さんに頂いた貴重なご意見やご要望は、今後の南湖公園の保全・利活用に関する取り組みに活かしていきたいと思っております。本当にありがとうございました。